

報徳壹圓塾が二宮尊徳の由緒書きを清掃



8月8日、二宮尊徳の教えに学び、まちづくり活動を実践する市民グループ・報徳壹圓塾（大和田信雄塾長）が、尊徳の功績などを記した由緒書きの清掃を行いました。市内に12基ある由緒書きは一昨年、報徳壹圓塾が設置。そのうち7基は、市の住民参加型まちづくりファンド事業の助成を受けて建てたものです。

戦後70年の節目に改めて平和について考えてほしい



8月2日、明野公民館大ホールで、はらんきょうの会（加藤由美子代表）主催の朗読劇「あの夏の日の記憶 ヒロシマ ナガサキ そして」が開催されました。この朗読劇は広島・長崎の原爆被災者の手記や詩を紹介するもので、今回で17回目。原爆の悲惨さを伝え、命や平和について考えてもらうために行われています。

「今、子どもたちのために出来ること」ちくせい市民討議会 2015 を開催

7月12日、しもだて地域交流センターで、(公社)下館青年会議所（堀江智幸理事長）と市の共催による「ちくせい市民討議会 2015」が開催さ



れました。今年の討議テーマは「今、子どもたちのために出来ること」。無作為で選ばれた市民と高校生合わせて32人が参加し、「学校教育に市民が参画できる仕組みを作りたい」「子どもたちのために活動したい人が大勢いるので、情報を共有したい」などと活発な意見を交わしました。討議の結果は報告書にまとめられ、市長に手渡される予定です。

住まいのまちなみ賞受賞を記念して講演会



8月8日、旭ヶ丘集落センターで、旭ヶ丘自治会（渡邊喜弘会長）主催の「住まいのまちなみ賞受賞記念特別講演会」が開催されました。同自治会は平成25年、身近な住環境の維持活動などが評価され、(一財)住宅生産振興財団などが主催するコンクールで「住まいのまちなみ賞」を受賞しています。当日は、筑波大学芸術系の渡和由准教授が世界

筑西の美術 2015 絵画展 市内画家の大作を一堂に



7月19日から9月6日まで、しもだて美術館で「筑西の美術 2015 一絵画展一」が開催されています。この展覧会は、筑西市美術家協会（飯泉俊夫会長）としもだて美術館の共催によるもので、協会所属の画家22人による多彩な絵画を一堂に会し、展示しています。

会期中には出品画家による作品鑑賞会が開かれました。初日は、飯泉会長など5人が自らの作品を前に解説。大勢の来場者が、画家の言葉に熱心に耳を傾けていました。

毎月第3土曜日 **せんべい・おかき祭り開催中!**
お彼岸・お土産に、好評のギフト商品、品揃い豊富にございます
9月19日 [土] 9:00-16:00 月に1度の大特売市!

新登場	こわれ粉各種	3袋で	500円
直売	煎餅・おかき各種	5袋で	1,030円

株根本製菓 0296-22-5871
筑西市外塚 801 定休日 (日曜・祝日)

地域密着 1999年～最新マシンと老舗の技術と経験
美と健康
無理な勧誘は致しません。お試し体験から始めるので安心です。

今最中の高濃度ホウ酸水洗浄機も併設しております!
ホウ酸含有量 0.8-1.2ppm

Tel:0296-21-0233 サロン・シエル
平日 10:00-20:00 土日 10:00-17:00 (お休み) 5分間 筑西市一本松142番地12

はがきの書き方を学び、 夏休みの目標を宣言



7月10日、養蚕小学校（嶋山和也校長）は、異なる学年が一緒にチームになり交流を楽しみながら活動する「第2回夢っこチームなかよし集会」を開催しました。

今回の活動のテーマは「夏休み夢っこわんぱく宣言をしよう」。子どもたちが、わんぱく宣言と題した「家の手伝いをする」などの夏休みの目標をはがきに書きました。その後、郵便局員にはがきの宛名や差出人の書き方を教わり、それぞれの家族宛てに送りました。

自然の魅力に心躍る ～里山キャンプ



NPO法人里山を守る会（中川行夫理事長）は、里山に宿泊して自然の魅力や便利な日常生活のありがたさを体感してもらおうと、7月29日・30日に五郎助山（上野）で「里山キャンプ」を開催しました。

参加した関城西・関城東小の4～6年生61人は、古代の方法で行う火おこしなどを会員や里山名人（同キャンプに3年間参加した中学生）に教わりながら体験。夕方から夜にかけては、カレーライス作りやキャンプファイヤーを楽しみました。

鉄道を観光資源に SLデザインの和菓子



鉄道を観光資源に活用したいと、(有)湖月庵（上野貴則社長）は、市内を走る真岡鐵道のSLをデザインした和菓子「SLこっとん」を製作しました。「箱を小物入れに使用してもらい、筑西を思いだし、再び足を運んでもらえれば」との思いが込められ、箱の中に筑波山が描かれるなど、細部にまでこだわりが感じられる仕上がりです。

インターネットに潜む危険を保護者と一緒に学ぶ



7月8日、協和中学校（寺崎勝美校長）で「ケータイ・パソコン安心・安全講座」が開催されました。講師の荒川恒昭氏（NPO法人イーエルダー）は、「便利なインターネットの中に潜む危険やトラブルの事例を子どもたちだけでなく保護者も一緒に学び、被害に遭わないよう気をつけてほしい」と話しました。

明野中学校男子柔道部が県総体4連覇の快挙！

明野中学校（小島久男校長）男子柔道部（斉藤大夢さん、鈴木大雅さん、小菅洋紀さん、関口陽介さん、尾見謙介さん、大吉慧さん、東山一稀さん）が、7月22日・23日に茨城県武道館で開催された「平成27年度県民総合体育大会兼国民体育大会県大会（中学校の部）」団体戦で優勝し、見事4連覇を果たしました。また、個人戦60キログ級で小菅洋紀さんが優勝、関東大会でも準優勝に輝きました。8月12日、同部のみなさんが市役所を訪れ、市長に全国大会へ向けての強い意気込みを話してくださいました。



SLこっとん 大好評発売中!!

筑波山を背景に走るSLが和菓子になりました。こしあんを厚く焼いたもなかの皮ではさんであります。

ちっくんスーパープレミアム商品券ご利用で
おためし3個入巾着 540円を500円!
(期間:9月1日~平成28年1月31日)

6個詰
1,080円



館最中本舗 下館駅前通り（火曜定休）
湖月庵 ☎ 0296-22-2513

無料で鑑定・査定致します!!

加工・修理はおまかせください

カメオ 西洋真鍮真珠

高価買取!!
友記の玉石をお持ちの方、ご相談ください!
プロが査定! 地金・ダイヤ・七宝・ルビーでも

一輪ダイヤモンド
ピンクダイヤモンド
天然石
コロムビア
エメラルド

ジュエリーマール 0120-678-312
by タナカヤ 岩瀬常盤銀行ヨコ 桜川市岩瀬113-3



「腕相撲」から「アームレスリング」へ



第27回JAWA全日本
ジュニアアームレスリング
選手権大会ライトハンド
75キロ級準優勝
まつもと のりゆき
松本 誠由さん

前年の雪辱を果たしたい

「アームレスリングと出会ったきっかけは、昨年の『どすこいペア腕相撲大会』での優勝でした」と話してくれたのは、県立下館第一高等学校3年の松本誠由さん（板橋）。

小中学生の頃、よくクラスの友人たちと腕相撲をして遊んでいた松本さんは、高校生になってから地元関城の祭典「どすこいペア」で腕相撲大会に出場しました。

1年生のときは負けてしまいました。が、昨年はそのリベンジのため出場し、見事優勝。大会

を観戦していたアームレスリングチーム「無双腕」に誘われ、アームレスリング界の門を叩きました。

世界でも戦える自信がある

「腕相撲に慣れ親しんできたので、はじめた当初はアームレスリング独特の姿勢やテクニクを身につけるのに苦労しました」と話す松本さんは、それからわずか11か月後の、今年7月に開催された全日本ジュニア選手権大会のライトハンド75キロ級で、準優勝に輝きました。

「全日本ジュニアは15歳から21歳までと年齢が幅広く、周り

を見ると年上の方ばかりで、はじめは戸惑いました。そんな中で準優勝でき、とても嬉しいです」と笑顔。この大会結果により、9月の世界選手権マレーシア大会への出場が決定しました。

「世界選手権は18歳までと、対戦相手のほとんどが自分と同じ年齢になります。同級生との腕相撲は負けたくない」という気持ち強いです」と闘志を燃やします。



▲表彰台に登り準優勝に喜ぶ松本さん



「外国人選手と戦ったことはないですが、骨格が違うとよく耳にします。アームレスリングはパワーだけでなくテクニクも必要な競技なので、たとえ体格差があっても、十分戦えると思います。目標は、もちろん優勝です」と力強く語ってくれました。

もっと上を目指したい

練習は実戦を繰り返すことで、相手の癖やテクニクを学びます。「アームレスリングは相手がいないとできません。いろいろな相手と試合を重ねて、もっと強くなりたいですね」と話す松本さんの、今後の活躍が楽しみです。

**普通車 (AT・MT)
受付実施中!**

個別送迎 **無料** 託児室完備 **無料**

茨城県西自動車学校 上筑波自動車学校
TEL:0296-37-6012(代) TEL:029-869-0931(代)

KENSEI KAMITSUKUBA 指定自動車教習所 http://www.kenseljkou.co.jp/

茨城県西自動車学校
〒308-0121 茨城県筑西市船玉286

上筑波自動車学校
〒300-4201 茨城県つくば市寺貝1268-2

市民記者のページ



鈴木 よし子 さん (小川)

健康寿命は意識すれば延ばせるそうです。生活習慣を見直し、大豆パワーを取り入れてみてはいかがでしょうか。

健康食品として注目される大豆の栽培

高齢化が進み健康への関心が高まる昨今、納豆や豆腐など、大豆を原料とする食品に関心が集まっています

県全体の3割を生産する筑西の大豆

高齢化が進むなか、「健康寿命を延ばそう」と認知症を予防するには何をしたらいいのか。何を食べた方がいいのか」と取りざたされている昨今。大豆を原料とする納豆や豆腐、凍り豆腐などが、それらに効果があると注目を集めています。

農林水産省の平成25年概算データによると、日本の年間大豆消費量は3001万トンで、国内生産量は20万トン。自給率は7パーセントで、ほとんどはアメリカなど海外からの輸入に頼っています。

筑西市における平成26年の大豆収穫量は1,730トンで、茨城県全体の3割を占めます(同省「わがマチ・わがムラ」市町村の姿)による)。そこで大豆の栽培について、市農業委員会会長であり、

自らも10ヘクタールの規模で大豆を作付する石塚正実さん(中舘)に話をうかがいました。

害虫対策、除草、苦勞の末に収穫



石塚さんの話をうかがう市民記者

「大豆は連作に不向きなため、順次耕作地を変えながら栽培しています」と、石塚さん。麦が米の裏作(米の収穫後、次の作付までの期間に他の作物を作ること)として栽培されるのに対し、大豆は、減反で稲作が休みの田んぼで栽培されることが多いそうです。

また、栽培するうえで苦勞について、「茎や実が甘く害虫による被害にあいやすいので、対策は欠かせません。しかし、それ以上に大変な労力が必要とするのが除草作業ですね。真夏の炎天下での厳しい作業を乗り越えて、やっと開花を迎えます」と話してくれました。花が咲いて約1か月すると枝豆として食べられるようになり、その

後、葉が枯れた10月末から11月初めごろに大豆として収穫されます。

最近では手間いらすの遺伝子組み換え大豆が出回り、大きな比重を占めつつあるといいますが、石塚さんは一切栽培していないそうです。

大好評、尊徳豆まつりの枝豆祭り

石塚さんが育てた枝豆は、毎年10月に行われる尊徳豆まつりの主役でもあります。まつりは、二宮尊徳の教えに学び地域活性化を目指して活動する市民グループ「報徳壹圓塾(大和田信雄塾長)」が主催する行事。真岡鐵道S1がすぐ横を走る石塚さんの畑を会場に、約千人の市民が枝豆刈りを楽しめます。今年は10月10日(土)・11日(日)



尊徳豆まつりで枝豆刈りを楽しむ市民

に開催されますので、枝豆の好きな方は足を運んでみてはいかがでしょうか。ぜひ筑西の大豆をご賞味ください。

ご宴会・お食事会ご予約承ります

お座敷 46名

- 会席コース 3,780円より
- 法要会席コース 4,320円より
- 大皿コース 3,000円より

特典1 安心の無料送迎 ※日各様以上でご利用頂けます

特典2 ランチョンマット & 箸袋サービス

引出物承ります

ごほう下館本店

【住 所】筑西市一本松482
【営業時間】11:00~21:30
お問合せ・ご予約は 0296-22-7878

カワフツ 天照製菓 日本ハム マクドナルド

筑西people

ご宴会優待クーポン

~料理本体価格より~

10%割引

ごほう下館本店でご利用いただけます
ご予約の際、本券使用の旨をお伝え下さい
優待サービスとの併用はできません

平成27年9月30日まで有効